

コースNo. **113** ★東京・大阪・名古屋・福岡発着

ベトナム学生交流と世界遺産アンコール遺跡を訪れる
アジア・ピーススタディツアー **7**日間

旅行代金(東京・大阪・名古屋・福岡発着) お一人様あたり

出発日	旅行代金(燃油サーチャージ込)
8月27日(木)	175,000円
I人部屋追加代金 20,000円	
相部屋条件:6/15までの相部屋希望を受付けます。期日以降はP5をご覧ください	

- 食事:朝食5回・昼食5回・夕食1回(機内食を除く)
- 最少催行人員:4名
- 添乗員:同行しません。日本語を話す現地ガイドがお世話します。
- 利用予定ホテル:下記の別表をご覧ください。
- 利用航空会社:ベトナム航空、コリアンエア、アジアナ航空、中国東方航空、キャセイパシフィック航空、ドラゴン航空、タイ国際航空、ベトナムジェット、香港航空(エコノミークラス)
- 必要ビザ:カンボジア
- パスポート残存期間:カンボジア入国時・ベトナム出国時6ヶ月以上必要
- ※下記は旅行代金に含まれませんので、旅行代金と合わせてお支払いください。
(2020年3月1日現在)日本国内の空港施設使用料(成田:2,130円、羽田:2,610円、関空:2,780円、中部:2,620円、福岡:980円)、旅客保安サービス料(成田:530円、羽田:100円、関空:320円、中部:350円)および国際観光旅客税1,000円
- ※海外(渡航先)の空港諸料は本パンフレットの企画旅行商品の旅行代金に含まれております。旅行契約成立後に空港諸料の新設または税額が変更された場合、為替変動により日本円換算額が変更となった場合でも、増額分の追徴ならびに減額分の払い戻しはございません。
- ※カンボジアビザ取得代金(6,500円)は含まれておりません。ビザ取得については、後日申込者に直接ご案内を郵送しますので、ビザ取得代金、ビザ取得必要書類をご返送ください。

日程

1	東京・関空・名古屋・福岡 (アジア内都市経由) プノンペン	06:30~16:25 空路、カンボジアの首都プノンペンへ。 15:45~23:20 到着後、ホテルへ ■プノンペン泊 □
2	プノンペン	【終日】プノンペン観光 (トゥールスレン博物館、キリングフィールド、独立記念塔、王宮、マーケット、ワットプノン) ■プノンペン泊 □
3	プノンペン シェムリアップ	【朝】~【午前】国内線にて、遺跡の町・シェムリアップへ 到着後、アンコール遺跡観光 (アンコールワット、アンコールトム、タ・プロム、タ・ケウ) ★夕食はアプサラダンスショー付きビュッフェディナー ■シェムリアップ泊 □
4	シェムリアップ ホーチミン	【午前】シェムリアップ観光 (CMAC(カンボジア地雷対策センター)、オールドマーケット) プロビンシャル オーパネイジセンター(孤児院)訪問 (※他の孤児院となる場合があります) ★屋食は孤児院にて子ども達と一緒に召し上がりください 【午後】トンレサップ湖クルーズ ★カンボジアスイーツ「かき氷」か「スムージー」を現地で チヨイス 【夕刻】~【夜】空路、ベトナム・ホーチミンへ 【夜】到着後、ホテルへ ■ホーチミン泊 □
5	ホーチミン	【午前】ツーツー病院(平和村)訪問 (※訪問できない場合は統一会堂) 【午後】ホーチミン観光(戦争証跡博物館、ペンタイン市場) ★ベトナム版スムージー「シントー」かゼンざい「チェー」 を現地でチヨイス ※ペンタイン市場にて解散。ホテルへは各自でお戻りください。 ■ホーチミン泊 □
6	ホーチミン クチ ホーチミン	【午前】クチ観光(地下トンネル、武器展示室) 【午後】ベトナムの学生との交流会 (日本語を勉強しているベトナムの学生とのフリー ティスカッション) 出発までベトナムの学生によるホーチミン案内(予定) 【夜】空港へ → 機中泊 □
7	(アジア内都市経由) 東京・関空・名古屋・福岡	19:45~翌05:55 空路、帰国の途へ 07:00~20:50 各空港到着後、解散 □

旅行企画・実施 全国大学生生活協同組合連合会 旅行センター

※上記日程は訪問機関の都合や現地事情により変更になる場合があります。

利用ホテル・宿泊施設

- 【プノンペン】カルダモン、パシフィック、ニューヨーク、アジア、ミト、アジアパレス
- 【シェムリアップ】メコンアンコールパレス、コープレイ、ゴルフアンコール、モリリー、シティリバー、カーサアンコール、アンコールホリデー、パイオンパティック、グラッドサンセット、プティックカンボ
- 【ホーチミン】サイゴンスター、アジアン、リバーサイド、ヴェンズ、ニューエボック、サイゴン、ボンセン、アラゴンセントラル

アンコール遺跡群では修復作業等の現地事情により、遺跡から離れての見学となる場合や一部見学できない場所があります。第三回廊は安全面や宗教的な理由、王室行事・国家訪問・国費訪問等により予告なしに入場できない場合があります。その場合は、ご返金はありません。



近隣国で何が起こっていたのか アンコールワット朝日鑑賞 ©ASEAN-Japan Centre

世界遺産「アンコール遺跡群」のあるカンボジア。エネルギーの発展をとげるベトナム。この両国はかつてフランス領インドシヤ連邦へ編入(植民地化)されていました。フランスの第二次世界大戦での敗戦を機に日本軍が進駐するも日本も敗戦、戦後再びフランスが侵略。第一次インドシヤ戦争でフランスが北ベトナムに敗北した後は、南ベトナムにアメリカが介入し南ベトナムとアメリカ 対 北ベトナム(南ベトナム解放民族戦線)との戦い「ベトナム戦争」へと発展しました。ベトナム戦争で米軍が上空から散布した「枯葉剤」の影響により奇形児が生まれ、終結後の現在も奇形の子が誕生しています。一方、カンボジアの首都プノンペンを陥落したポルポト政権(クメール・ルージュ)は1975年~わずか約3年8ヶ月の間に約200万人以上の罪なき農民、教師、技術者たちを政治犯として捕らえ大虐殺しました。21世紀の今も争いが絶えない地球。戦争や紛争が起これば被害を受けるのは言うまでもなく民間人です。日本とも関わり深い両国を巡る歴史を通じて学び、考えてみましょう。

カンボジア・ベトナムスタディツアーのポイント



クチ地下トンネル
南ベトナム解放民族戦線がアメリカ軍による度々重なる空爆と枯葉剤投下に対し、地下に三層構造のトンネルを掘りゲリラ活動をおこなっていた場所 ※実際に地下トンネルに入ります



トゥールスレン博物館
ポル・ポト政権下虐殺の舞台のひとつとなったトゥールスレン刑務所を後世に伝える博物館として公開。尋問室、独房などが当時のまま残され、無実の罪で囚われ虐殺された人々の無念さがひしひしと伝わってきます。

枯葉剤被害障害児童施設(ツーツー病院内・平和村)
枯葉剤の被害を受けた子どもたちが生活している「平和村」。そこで障害を持ちながらも元気に生活している子どもたちとの交流を通して「戦争の残虐さ。愚かさ。平和とは」を一緒に考えましょう ※時間が合えば日本で分離手術を受けたことでも有名なドクさんのお話を聞いたり、子どもたちの食事をするお手伝いをして頂きます
※病院内のため事情により訪問できない場合は、統一会堂にご案内します



プロビンシャル オーパネイジセンター(孤児院)
自身も「孤児」だったというムオン・ティエさんが定年後「貧しい家庭、親のいない子どもたちに住居と教育を」という強い思いを形にし、2002年に設立。施設には5歳から18歳までの子ども達が約40名暮らしており、年長者は英語が話せる子どもが多いので、折り紙やコマ、オセロやかるたを持参してポディランゲージを交えながら楽しく交流♪
※孤児院の都合により他の孤児院へご案内する場合があります ※使わなくなったノートや鉛筆などの筆記用具のご寄付も喜ばれます



ベトナム学生交流
日本語を勉強しているベトナムの学生とのフリートーク。アオザイの着方講習・試着あり。交流会終了後はベトナムの学生と一緒にホーチミン市内散策(予定)



アンコール遺跡群
百聞は一見にしかず 長らく樹海に埋もれていたアンコール遺跡群 神秘的なクメール王朝時代の世界をご満喫ください